

令和7年度 上野幌中学校区 小中一貫した教育グランドデザイン

上野幌中学校 ノホロの丘小学校

札幌市の「小中一貫した教育」の目的

「自立した札幌人」の実現に向け、義務教育段階において「知・徳・体の調和のとれた育ち」の一層の充実を図る。

9年間を通した
子どもの学びのつながり

子ども理解・生徒
指導の連続性

推進の
4 視点

教職員の
連携・協働

家庭や地域との
関わり

地域の実態・願い

計画的に開発された住宅地で教育に関心の高い家庭が多く学校への期待も大きい。
開校以来、地域との関係も良好で、学校の取組に協力的である。

上野幌中学校区 目指す子ども像

知 目標をもって 主体的に学びを深める子ども
徳 豊かな心を持ち 思いやりにあふれた子ども
体 心身ともに健康で たくましくきたえる子ども

子どもの実態

明るく素直で、真面目な子どもが多い。
物事に前向きに取り組む子どもが多い。
自分に自信がもてず、受動的な側面も見られる。

各校・学校教育目標 及び 目指す生徒像

上野幌中学校

明日をきり拓く たくましく 心豊かな生徒の育成

目指す生徒像

- 「未来を見据え、自ら考え、判断し、行動する生徒」
1. 自分のよさや可能性を認め、主体的に活動する生徒
 2. 失敗を恐れず、勇気をもって未知なるものに挑戦する生徒
 3. 互いの個性や多様性を認め、他者と協働する生徒

ノホロの丘小学校

目標をもって学び、心豊かに行動し、
力強く生きる子どもの育成

目指す子ども像

「進んで 温かく 生き生きと」

具体的な取組

【知】

- ・学ぶ力の育成プログラムを小中学校間ですり合わせをして共有化。
- ・パートナー校間で連携した授業研究の取組。
- ・小学校から中学校へ、連続性のある、課題探究的な学習の推進。
- ・1人1台ICT端末の活用状況と工夫内容の共有など。

【徳】

- ・パートナー校間での道徳科の授業交流の取組。
- ・児童と生徒がかかわり、連携した取組の設定。（「小学生の目標となる中学生の姿」を意識させ、互いの成長へとつなげる。）
- ・児童会と生徒会が連携したボランティア活動の設定など。

【体】

- ・健やかな体育プログラムを小中学校間ですり合わせをして共有化。
- ・パートナー校間での保健体育科の授業交流の取組。
- ・体育的行事などの交流と連携・協力。
- ・諸調査を活用した、小中で連携した健康指導や給食指導など。

教職員の連携・協働

- ・互いの授業の見学や出前授業の設定。
- ・春の札幌教研での合同研修会の実施（適切な研修テーマの設定と連続性のある子ども理解の取組）
- ・教育課程交流会の実施（総合的な学習の時間の内容や行事の実施内容などの交流）（キャリアパスポートの連携と活用を図る。）

家庭や地域との関わり/地域の特色を生かした取組

- ・地域や家庭に開かれた学校づくり。
- ・各校HPや学校便りなどの活用、情報発信や協力の呼びかけ。
- ・地域の人材や施設を活用した授業や行事の設定。
- ・地域企業や事業所と連携したキャリア教育の推進。
- ・地域と連携したボランティア活動の企画と実施。

前年度(R6)の取組（成果）

- 小中連携の具体化に向けて
- ・春の札幌教研での合同研修会や、教育課程交流会を通して、授業づくりや小中のより良い連携について研修を深めた。
 - ・小学生合唱見学会や中学校訪問、出前授業などを通して、小中の子どもの連携を深めた。

今年度(R7)の取組（計画）

- 「今あるものを『活かした』小中連携の促進」
- ・「子どもの姿で語る」業務連携と洗い出し
 - ・総合的な学習の時間を中心とした教育課程の連携推進の具体化。
 - ・分掌業務を活用した業務ごとの連携促進。

上野幌中学校区 目指す 15 歳の春

学びと経験をいかし、主体性をもって未来を志向する、たくましい札幌人

今あるものを『活かした』連携（つながりの見える化）

～新しいものだけではなく、見える化、言語化する小中連携を目指す～

